

# かながわの風

19  
April  
2018

<http://www.kacsw.or.jp>



## 特集

神奈川県国際・多文化  
ソーシャルワーク研究会の紹介  
…………… p.4・5

- 実践発表大会を開催しました …………… p.2
- 津久井やまゆり園事件について考える  
公開セミナー …………… p.2
- 全国大会(山口大会) …………… p.3
- 生涯研修センターよりお知らせ …………… p.5
- 理事会報告 …………… p.6
- たまひよ紀行  
(たまひよクラブ@西湘・小田原) …………… p.7
- 公開講座・研修情報 …………… p.8



# 実践発表大会を開催しました

日時 2018年2月17日土曜日13時～16時

場所 ウィリング横浜

2018年2月17日土曜日13時～16時、ウィリング横浜において、実践発表大会を開催しました。今年は、3題について発表を行いました。1題につき、15分間の発表と15分間の質疑応答を行い、今年も質疑が活発に展開されました。

その後の意見交換では、演題のテーマに日頃から向き合っている参加者から、普段感じていることを話していただき、また発表者からも発表した感想などを話していただくことで、参加者、発表者が相互に学びあえるような実践発表大会になりました。

近年、基礎研修では発表の機会が多いカリキュラムが行われており、基礎研修を修了した方を中心に少しずつ意見交換ができるような参加者が増えて

います。参加して聞くだけではなく、発表を通して日頃の実践を振り返る機会や、ソーシャルワークの技術向上につなげられる機会にもなります。本大会で発表した後、日本社会福祉士会全国大会・日本社会福祉士学会での発表をする方、日本社会福祉士会が発行している、研究誌「社会福祉士」に投稿する方も増えています。社会福祉士の皆様には、参加するだけではなく、ご自身のテーマを発表していただきたいと願っています。

2018年度も、来年2月～3月ごろに開催予定です。社会福祉士に限らず、どなたでも参加することが可能です。皆様の参加をお待ちしております。

## 2017年度 実践発表大会 演題

| 演題   | 発表者            |
|--|----------------|
| 地域包括支援センターにおける職種別の職業性ストレスの実態と影響の検討               | 田代 真樹さん（湘南西支部） |
| 地域移行におけるエンパワメントアプローチ実践～被後見人の最善の利益から考える支援とは～      | 和田 明子さん（西湘支部）  |
| 基幹相談支援センターでの業務の実際とあるべき姿の検討～基幹相談支援センター相談員1年目の気付き～ | 芦名 慶子さん（横浜支部）  |

## 津久井やまゆり園事件について考える公開セミナー

### 「寄り添うとはどういうことなのか。」

津久井やまゆり園事件について考える公開セミナー「寄り添うとはどういうことなのか。」が2018年3月10日、横浜市中区の県民共済みらいホールで開催されました。



事件で妹が重傷を負った社会福祉士の男性は、再建計画をめぐる議論が進んでいく中で、「大規模施設の地域移行は正しいこと」としながらも、「今ある生活の尊さを受け止め、目を向けて欲しかった」と、地域と深いつながりがあったかつての施設について話してくれました。

パネルディスカッションでは、津久井やまゆり園園長の入倉かおるさん、本会副会長で田園調布大学教授の隅河内司さん、県障害者施策審議会部会委員の伊部智隆さんが加わり、当事者に「寄り添うこと」の大切さについて意見が交わされました。



## 第26回 日本社会福祉士会全国大会・ 社会福祉士学会(山口大会)のご案内

平成30年 7月7日(土)・7月8日(日)開催

### 『挑む — Challenge —』～社会福祉士誕生から30年の今～

一般社団法人山口県社会福祉士会 会長 白石 義彦

本年7月7日(土)～8日(日)開催の第26回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会山口大会まで3か月余りとなりました。PR動画DVDもお送りし、開催要綱も送付されたことと思います。実行委員一同最後の力を振り絞り頑張っています。

大会テーマは『挑む — Challenge —』～社会福祉士誕生から30年の今～です。テーマには実行委員の熱き想いと強い思いを込めました。

社会福祉士が誕生し30年、私たちは日々専門職として業務に励んできた結果、「必要とされる存在」として認知され期待を寄せられるようになりました。しかし、振り返ってみるとき、このままで良いのだろうか、十分期待に応えているのだろうか等考えてしまいます。その答えを導き出すためには、現実と課題、さらに激動期に突入するであろうこれからのをしっかり見据え、常に時代に即した最善の実践のあり方を求めてパイオニアとして挑み続け、「なくてはならない存在」として認められ、位置づけられることが重要ではないでしょうか。

これからの時代を生きる社会福祉士が、「これぞ社会福祉士」と言われる真(まこと)の社会福祉士像を全国の仲間と共に考え模索する大会にしたいと思います。

山口市は、県の中心部にあり県庁所在地です。平成の大合併により人口は19万人余りとなりましたが四季折々自然豊かな静かな町です。室町時代に繁栄した大内氏の「西の京」の華やかな大内文化の香りと明治維新の面影を色濃く残し、美肌の湯として名高い「湯田温泉」があります。大会会場からは、日本三名塔の一つに数えられる国宝「瑠璃光寺五重の塔」、キリスト教伝来の地「ザビエル記念聖堂」、雪舟庭、中原中也記念館など多くの文化財や史跡が散策できます。

また湯田温泉や新山口駅を拠点とし、カルスト台地「秋吉台」と鍾乳洞「秋芳洞」、五連の木橋「錦帯橋」、明治維新胎動の地の「萩」、奇兵隊拳兵地の国宝「功山寺」、海上アルプス「青海島」、コバルトブルーと癒しの「角島大橋」、日本海の青と赤い鳥居の「元乃隅稻荷神社」、「金子みすず記念館」等多くの観光地を巡ることができます。ふぐ等のおいしい食べ物、注目されている日本酒、伝統工芸の萩焼等があり、貴婦人の愛称で親しまれているレトロなSL山口号が津和野間を走っています。

折しも明治維新150年に当たり、また平成時代最後の大会となるでしょう。この意義深い大会にぜひご参加いただき日頃のお疲れを癒していただきたいと思います。

会員一同皆さんにお会いできることを楽しみにしています。



山口大会の情報を随時発信中！！

〈山口県社会福祉士会ホームページ(山口大会ページ)〉

(<http://yamaguchicsw.com/2018070708yamaguchizenkokutaikai.html>)



山口県PR本部長「ちよるる」

神奈川国際・多文化ソーシャルワーク研究会（通称たぶん研）は、2014年、日本社会福祉士会主催の滞日外国人ソーシャルワーク研修会を受講した有志が集い、神奈川県社会福祉士の自主活動グループとして承認され、発足しました。そして国際的ソーシャルワークの動向や、在日外国人支援、多文化理解等の知識・意識を深めるために研究会活動等を行っています。主な活動は以下の通りです。

**研究会の開催** 年間6回、多文化ソーシャルワーク分野で活躍する実践者等を講師としてお招きして講義を受けた後、質疑応答・意見交換を行っています。今までに、外国人への医療、介護、教育、相談業務に携わる専門職や通訳者、各種委員会に出席する外国人当事者、国際協力活動に携わる専門家等から学んできました。研究会終了後の講師を囲んでの懇親会も楽しみの一つです。



**国際交流活動** 年末には、慶応大学の留学生数名を交えて交流会を開催しています。毎回、会員がエスニック料理の数々を自ら調理、参加者に提供されて、毎回大変好評です。



**社会見学** 入国管理局、在日韓国人のデイサービス、多文化の外国人が住むいちょう団地の祭り等を見学してきました。

**会費制** 会員が半期1,000円、年間2,000円を任意で拠出し合い、自主活動の資金としています。

**その他** 2017年度より、神奈川県社会福祉士会主催「多文化ソーシャルワーク研修会」（認定社会福祉士認証研修）の運営を担っております。2日間、先駆者として活動されている複数の講師から学ぶことができるカリキュラムです。



2017年度の多文化ソーシャルワーク研修会での平田会長挨拶と終了後の記念撮影

## 2018年度の研究会予定

| 日程                 | テーマ   | 講師  |
|--------------------|---|---|
| 4月20日(金)<br>18時半開始 | 日本に於ける無国籍者の現状と<br>その解決支援について                                  | マッキンタイヤー・ステイブン氏<br>(無国籍ネットワーク運営委員、一橋大博士課程)      |
| 6月8日(金)<br>18時半開始  | 横浜に於ける在日外国人教育生活相談を通して<br>共生社会活動40年間の歴史を語る                     | 竹川真理子氏 (NPO法人在日外国人教育生活<br>相談センター・信愛塾センター長)      |
| 7月8日(予定)           | モスク見学   | 引率：木村有孝氏 (県士会川崎支部)                              |
| 8月24日(金)<br>18時半開始 | 神奈川県在住外国人当事者からみた<br>多文化共生社会について (寸劇ワークショップ)                   | 中村ノーマン氏 (外国籍県民かながわ会議委員長)                        |
| 9月14日(金)<br>18時半開始 | 世界と日本の難民支援活動について  | 坂上智子氏 (NPO法人難民を助ける会<br>(AAR JAPAN) シリア難民キャンプ担当) |
| 12月(予定)            | 国際ソーシャルワーカー連盟 (IFSW)<br>総会の帰国報告会と「慶大国際留学生と<br>手作り多文化料理を楽しむ夕べ」 | 平田美智子氏 (当会会長、IFSW アジア太平洋<br>地域役員)               |

経済協力協定 (EPA) ・技能実習制度の外国人介護士が増加する中、今後、益々、多文化ソーシャルワークの知識・技術が現場で必要となります。また、市民として外国人とどのように共生していくか、ヒントを得られると思います。是非、お気軽に研修会等に参加して下さい。

### 事務局

会 長：平田美智子 (IFSW アジア太平洋地域役員)

事務局：明星圭介 (横浜支部) westendk@hotmail.com

\* 研修案内は、神奈川県社会福祉士会のホームページでご覧頂けますが、会員メーリングリストに登録している方には、研修会の案内等を事務局よりメールでご連絡します。  
木村有孝 (川崎支部) facebookグループページ担当

## 生涯研修センターよりお知らせ

### (1) 2018年度の基礎研修・実践発表大会について

生涯研修センター主催研修を右記の通り実施します。

基礎研修に関しては、今年度より定員が定められていますので、定員超過の場合は選考を行います。選考基準は、神奈川県社会福祉士会のホームページ掲載の募集要項をご覧ください。

倫理綱領・行動規範研修については、新たな研修プログラム開発を目指すため、今年度はお休みさせていただきます。

| 研修名    | 日程                         | 定員          | 参加費(税込) |
|--------|----------------------------|-------------|---------|
| 基礎研修Ⅰ  | 前期コース 7月14日、11月3日          | 各コース<br>80名 | 10,000円 |
|        | 後期コース 12月15日、3月9日          |             |         |
| 基礎研修Ⅱ  | 土曜日コース 5月～10月              | 各コース<br>50名 | 30,000円 |
|        | 日曜日コース 6月～12月<br>※いずれも10日間 |             |         |
| 基礎研修Ⅲ  | 土曜日コース 5月～12月              | 各コース<br>30名 | 40,000円 |
|        | 日曜日コース 6月～12月<br>※いずれも11日間 |             |         |
| 実践発表大会 | 2月～3月 (※調整中)               | 50名         | 無料      |

### (2) 認定社会福祉士認証研修について

神奈川県社会福祉士会では、2018年度に認定社会福祉士認証研修「災害支援活動者養成研修」「多文化ソーシャルワーク研修」「障がい者の生活支援研修」「リーガル・ソーシャルワーク研修」を実施予定です。実施に向け、日程調整を行っています。

詳細については、神奈川県社会福祉士会のホームページをご覧ください。

なお、上記以外に認証研修の申請を予定している研修があります。実施が決まりましたら、本誌や神奈川県社会福祉士会のホームページでもご案内させていただきます。

URL : <http://www.kacsw.or.jp/>

神奈川県社会福祉士会

検索

# <平成29年度 理事会 報告>

## ■臨時理事会

平成30年1月17日(水) 19時～20時50分 神奈川県社会福祉会館 2階 第1会議室

議長：山下会長、理事出席9名 事務局1名

議事録署名人：出席全理事 齊藤・江原監事

**審議事項** 議案1 入退会審査－承認された。12月新入会2名、退会2名(その他会員状況：会員数2,940名 組織率19.05%)

議案2 賛助会員入会 1名の入会希望があり承認された。

議案3 規則改正案審議 第10・11・17・18・19・20・21・23・24・25・26・27・28号の各号について  
文言修正版の確認をおこなった。第19号のみ、第11条の決裁手続きについて、再度総務企画で確認を  
することとなった。その他は文言修正について承認された。

第10号 事務局組織及び運営に関する規則(案) 第17号 職員等旅費規則(案)

第18号 手数料に関する規則(案)

第19号 文書取扱規則(案) 第20号 公印管理規則(案)

第21号 総務局運営規則(案)

第23号 総務局 局連絡会議運営規則(案)

第24号 総務局支部調整連絡会議運営規則(案)

第25号 危機管理部運営規則(案)

第26号 広報部運営規則(案)

第27号 組織率向上部運営規則(案)

第28号 公益・福祉局運営規則(案)

議案4 ぱあとなあ神奈川運営委員会委員交代－湘南西地区担当委員変更承認された。

**報告事項** <以下報告確認 了承された>

①ぱあとなあ神奈川名簿登録・候補者推薦状況(次回理事会で再報告)

②会計進捗状況 1 2月分

③各推薦後援状況

④正副会長動向

⑤12月10日開催 臨時代議員総会議事録

12月10日開催 第4回理事会議事録

## ■臨時理事会

平成30年2月24日(土) 13時30分～15時 横須賀市立総合福祉会館 4階 第6会議室

議長：山下会長、理事出席10名 事務局1名

議事録署名人：出席全理事 江原監事

**審議事項** 議案1 入退会審査－承認された。1月新入会4名、転出1名、退会3名(その他会員状況：会員数2,940名  
組織率19.05%)

議案2 厚木市ホームレス巡回相談員推薦 昨年度巡回相談員3名継続推薦で承認された。

議案3 刑事弁護における社会福祉士等の紹介に関する協定に基づき紹介された福祉関係者に対して支払う報酬に  
関する覚書取り交わし－司法福祉ネットワーク委員会で協定に該当する業務に対する報酬に関する覚書  
の説明があり承認された。

議案4 ぱあとなあ神奈川地区コーディネーター委嘱 2018年度の担当者一覧を承認した。

議案5 2018年度神奈川県生活困窮者自立支援制度都道府県研修事業委託 受託することを承認した。

議案6 神奈川県いじめ問題再調査会委員の推薦 山下会長を推薦することで承認した。

議案7 費用弁済規則改正について承認した。

**協議事項** ①2018年度事業計画・予算(案) 次回理事会で審議とし、県へ提出する予定。

②3月臨時理事会開催の日程調整 3月26日開催とする。 <以上協議了承>

**報告事項** <以下報告確認 了承された>

①ぱあとなあ神奈川名簿登録・候補者推薦状況

②会計進捗状況 1月分

③各支部・事業部2ヶ月報告

④各推薦後援状況

⑤正副会長動向

⑥1月17日開催 臨時理事会議事録

**その他** ①支部役員連絡会 次第内容を確認した。

②3月10日開催 公開講座について、当日スタッフ協力可能な理事を募った。

# たまひよ紀行

参加者の  
声

「たまひよクラブ」は、社会福祉士を目指す方、社会福祉士となって日の浅い方が集い、交流し、つながりをつくり、深める場です。今回は、西湘・小田原で開催された交流会についてご報告します。

## たまひよクラブ@西湘・小田原

たまひよクラブでは、社会福祉士国家試験に挑戦している学生や、社会人として働きながら社会福祉士を目指している方、社会福祉士を取得したばかりの方などを対象に、各支部で交流を深めています。

今回は、2月24日におだわら総合医療福祉会館で開催され、医療ソーシャルワーカーの立場から先輩社会福祉士としてお話をさせていただきました。

当日は、学生3名、新人社会福祉士3名、現役福祉職で社会福祉士受験生1名に対し、7名の現役社会福祉士が質疑に対応する形式でした。参加者からは、「医療分野で働くソーシャルワーカーの方のお話を聞いた」「横のつながりを作ることができた」「福祉分野で働く方のお話から現場の実際や疑問を聞くことができる」「多職種のお話を聞いた事が大きい」「同じ目標を持つ方々のお話を聞いて良かった」「初めの一步で会に参加できて嬉しい」「これから社会福祉士を目指す学生さんもいて、自分も再度頑張らなければと思った」「色々な職種の方とつながる機会、現場の話が聞いて良かった」といった感想が寄せられました。入会したものの、どの研修から参加したら良いか悩んでいる方なども、社会福祉士会活動の第一歩を踏み出すきっかけになったという話も聞きました。

研修とはまた違った新たな交流の場を提供し、皆さんの社会福祉士としての第一歩をお手伝いできるような活動にしていきたいと思います。

組織向上委員会 重本晴賀



今年度も、皆さんにお会いできることを楽しみにしています。



| 月 | 日  | 開始時間  | 終了時間  | 研修名                                   | 概要   | 場所   | 主催                                    | 対象                 | 費用          |
|---|----|-------|-------|---------------------------------------|--|--|---------------------------------------|--------------------|-------------|
| 5 | 19 | 14:00 | 16:30 | 支部全体会。<br>基調講演(第2部)は<br>15時～16時30分。   | 基調講演は片岡侑史医師<br>(藤沢本町ファミリークリニック)<br>による「在宅医療の現場と課題<br>～社会福祉士に期待すること」  | JAさがみ農協茅ヶ崎<br>ビル5階大会議室<br>(茅ヶ崎市新栄町<br>13-44) | 湘南東支<br>部(ばあと<br>なあ神奈<br>川更新研<br>修認証) | 会員                 | 無料          |
| 5 | 20 | 13:30 | 16:30 | 横浜支部全体会                               | 第1部・横浜支部の活動報告、<br>活動計画<br>第2部・地域連絡会のつどい<br>～再発見! 地域連絡会の魅力～           | 横浜市西区福祉<br>保健活動拠点<br>フクシア                    | 横浜支部                                  | 一般                 | 無料          |
| 5 | 27 | 13:30 | 16:30 | 社会福祉×別領域の<br>科学反応<br>ソーシャルワークと<br>異文化 | 異文化的な背景を持つ人に<br>対して我々はどう向き合うのか<br>ろう文化と日本社会<br>エスニック・コミュニティと<br>日本社会 | 横浜市港南区<br>福祉保健活動拠点                           | 横浜支部                                  | 社会福祉士<br>および<br>一般 | 資料代<br>500円 |

## 広報委員会より

広報委員会では県民のみならず、会員に向けて年4回(1月、4月、7月、11月)、広報誌「かながわの風」を発行しています。2017年7月号より表紙をリニューアルし、紙媒体である本誌とホームページを活用した広報体制を整えていけるよう検討を重ねています。情報の鮮度と密度をより高く、タイムリーな情報をお届けできるよう引き続き精進して参ります。また本誌が皆様に、より身近な存在となれるよう表紙写真の公募や読者モニター等、様々な企画を進めて参りたいと考えています。内容が整いましたら、本誌等でご案内させて頂く予定でおります。

※本会会員の皆様の中で、広報制作に興味・関心がお有りの方は、事務局までお知らせください。是非、新しい「風」づくりに参加をお願い致します。なお、広報委員会は原則として奇数月の最終週の火曜日、19:00～21:00に開催しております。(広報委員長：日向 明)

### 編集後記

#### 桜 ～薄紅色の切符～

その人は桜の花びらを「切符」に例えた。福島県出身の詩人、杉山平一さんである。「毎日の仕事の疲れや悲しみから救はれるやう 日曜日みんなはお花見に行く やさしい風は汽車のやうにやってきてみんなの疲れた心を選んで過ぎる みんなが心に握ってある桃色の三等切符を 神様はしづかにお切りになる ごらん はらはらと花びらが散る」と。

この編集後記を推敲している今、桜前線の汽車は被災地を出発する頃であろう。散り際の薄紅色の小さな花びらを見ては、命の尊さや儚さに想いを寄せる、そんな季節に違いない…。

東日本大震災の発生から7年を迎えた。被災地各県では土地のかさ上げ工事や防潮堤の建設が進み、復興住宅や商業施設等も相次いで完成しているというニュースを耳にする。その一方で、いまだ多くの被災

者が故郷を離れたり、仮設住宅での不自由な生活を余儀なくされている現実も忘れてはならない。そんな中、燭台の明かりをそっと手で包むような薄紅色のニュースにふれた。

幼き日、母の手に引かれ福島県双葉郡富岡町(夜の森地区)の桜を見に出かけた記憶がある。数日前の地方紙、福島民友で8年ぶりに「桜まつり」というまつりの名称が復活するとの知らせを目にした。故郷を取り戻したいという願いに、神様は薄紅色の「切符」を用意したのだろう。その切符を手にした人々により、束の間ではあるが、町には桜と共に人々の笑顔が花開いた…。

消えない、消せない、忘れない、忘れてはいけない、帰らない、帰れない、水面に揺蕩う花びらのような人々の想いを乗せ、一片(ひとひら)の薄紅色の切符は次の旅人を探しに風に乗る…。

(広報委員長：日向 明)